

# 財政収支と年金財政の計量分析 報告要旨

## 国・公債に関する一考察

高知工科大学 長尾高明（東京大学名誉教授工学部）

### 1. はじめに

近年不良債権処理と並んで国債発行残高が社会的に大きい関心を呼んでいる。2004年9月末で国債発行残高（内国債）は約586.6兆円を示している（財務省資料<sup>1)</sup>より）。国債・地方債・借入金・政府短期証券を合わせると、1,017兆円となる。そしてこれはさらに増大する傾向にある<sup>2)</sup>。

本論文では、このような現状において、どれくらいまで国債発行が可能なのか、また、適正発行額がどの程度なのかを考察する。

### 2. 政府債の適正発行額

国債と地方債の合計を政府債と一括して考察した。

国・公債に関する諸関係を解析し、政府債費（元利償還金）の租税に対する比率が $R_B$ を超えない条件から次の条件を導いた。

$$B(n) \geq (g' - t') Y(n-1) + r_B \cdot B_t(n-1)$$

ここに、 $B(n)$ は新規政府債発行額、 $g'$ は一般政府支出（中央・地方政府の支出から政府債費（政府債の元利償還額）を控除した額）と前年度GDP  $Y(n-1)$ との比、 $t'$ は一般政府収入（中央・地方政府の収入から政府債発行額を控除した額）と前年度GDPとの比、 $r_B$ は政府債償還時の平均金利、 $B_t(n-1)$ は前年度末の政府債残額である。

### 3. まとめ

国債に関して考察し、諸関係を調べ、次にあげるいくつかの知見を得た。

- (1) 政府債残高が暴走しないための政府債（国債＋地方債）発行額を算出する式を導いた。
- (2) 政府債費の歳出に対する比率が $R_B$ を超えない条件は、政府債残高のGDPに対する比率が $R_B \cdot t' / r_B$ を超えない条件に置き換えられる。ここに $t'$ は租税+雑収入の前年度GDPに対する比率であり、 $r_B$ は政府債利率である。
- (3) 不良債権処理を多くすればするほど投資不足が増加し、引いては国債発行額が増大する<sup>3)</sup>。
- (4) 根本的に国債発行額を減少させるための条件は、国全体での収支均衡を回復することである。

以上

### 文献

- (1) <http://www.mof.go.jp/gbb/1609.htm>
- (2) 総務省統計局編：日本の統計2005（平成17.3）51.
- (3) 長尾高明：昨今の狭義貯蓄の減少等についての一考察、日本経済学会春講演報告要旨(2005.6)